

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-148762

(43)Date of publication of application : 27.05.1994

(51)Int.Cl.

G03B 35/00

(21)Application number : 04-302142

(71)Applicant : TOPPAN PRINTING CO LTD

(22)Date of filing : 12.11.1992

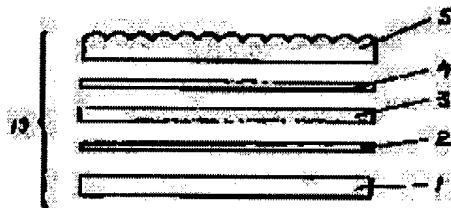
(72)Inventor : YOSHIDA TSUTOMU  
YAMADA SENHIKO  
SUZUKI TERUO

## (54) STEREOSCOPIC IMAGE AND ITS TACKING METHOD

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To make the free control of a stereoscopic feel possible and to improve the efficiency of formation by interposing a thin transparent film made of a resin between a lenticular plate and a synthesized image.

**CONSTITUTION:** The synthesized image 10 is obtd. by laminating photographic paper 1 on which the synthesized image is formed, a double coated adhesive 2, the thin transparent film 3 made of the resin an a transparent adhesive 4 made of the resin and the lenticular plate 5 for observation. The photographic paper 1 and the thin transparent film 3 made of the resin may be joined by dry lamination without using the double coated adhesive tape 2. The film 3 and the emulsion surface of the photographic paper 1 have high tacky adhesiveness and are easily bonded by compression bonding (dry lamination). The film 3 (resin) and the adhesive 4 (resin) have high adhesive power and the adhesive 4 cures rapidly, thereby joining both.



(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-148762

(43)公開日 平成6年(1994)5月27日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

G 0 3 B 35/00

識別記号

庁内整理番号

A 7316-2K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数4(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-302142

(22)出願日 平成4年(1992)11月12日

(71)出願人 000003193

凸版印刷株式会社

東京都台東区台東1丁目5番1号

(72)発明者 吉田 勉

東京都台東区台東一丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

(72)発明者 山田 千彦

東京都台東区台東一丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

(72)発明者 鈴木 輝男

東京都台東区台東一丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

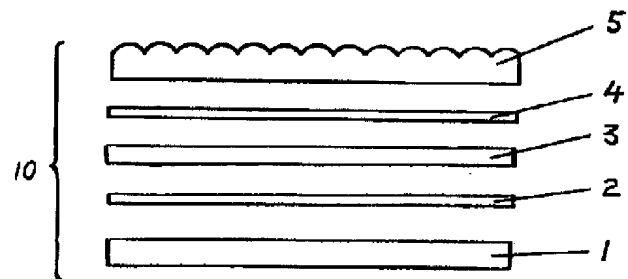
(54)【発明の名称】 立体画像およびその貼り合わせ方法

(57)【要約】

【目的】 レンチキュラー板と合成画像との適切な接合方法を提供する。

【構成】 レンチキュラー板と印画紙（視差を有する画像が所定ピッチで分割圧縮された合成画像）とを貼り合わせる際、両者の間に樹脂製の薄い透明フィルムを介在させる。

【効果】 接着剤が直接印画紙の乳剤面に接しないため、接着剤が合成画像の形成された乳剤面を侵して変色や退色を起こしてしまうことが回避される。さらに、透明フィルムの厚さを制御することにより立体感が自由に制御でき、加えて、作成効率の向上がはかれる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】視差を有する複数の原画それぞれが、レンチキュラー板のレンズピッチで分解され、分解された右目用画像と左目用画像とが1レンズピッチごとに圧縮配列されてなる合成画像を表面に有する印画紙と観察用レンチキュラー板とが、透明樹脂製の薄いフィルムを介して積層された構成である立体画像。

【請求項2】前記印画紙と前記フィルムとが両面テープにより接合された構成である請求項1に記載の立体画像。

【請求項3】観察用レンチキュラー板と前記印画紙とを貼り合わせる際、両者の間に樹脂製の薄い透明フィルムを介在させ、前記フィルムと前記印画紙とは両面テープにより接合し、前記フィルムと前記レンチキュラー板とは樹脂製の透明接着剤により接合することを特徴とする請求項2に記載の立体画像の貼り合わせ方法。

【請求項4】両面テープによる接着に換えて、ドライラミネートにより前記フィルムと前記印画紙とを接合する請求項3に記載の立体画像の貼り合わせ方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、レンチキュラー板を利用した立体画像（立体印刷物または立体写真等）およびその製造工程に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】前記立体画像を作成する場合には、視差を有する複数の原画それぞれを、レンチキュラー板の作用を用いて、すなわちこのレンチキュラー板のレンズピッチで分解し、分解された右目用画像と左目用画像を1レンズピッチごとに圧縮配列して合成し、この合成画像（フィルムまたは印画紙）に位置合わせしながら観察用レンチキュラー板を貼り合わせている。

【0003】従来、立体画像を作成する場合の貼り合わせの方法としては、レンチキュラー板と印画紙とを接着剤を介して圧をかけて貼り合わせていた。貼り合わせ作業の具体的手順は、印画紙の乳剤面に接着剤を塗布し、その上にレンチキュラー板をのせて、気泡が入らないように圧接しながら印画紙とレンチキュラー板の位置合わせを目視にて行い、接着剤が硬化するまで放置する。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】その際の問題点を以下に列挙する。

印画紙の乳剤面の接着にあたり、適切な接着剤および接着方法がなく、効率が悪い。すなわち、接着剤（樹脂）と前記乳剤面の両者の接着力が弱いことや、接着剤が合成画像（乳剤）を侵して変色や退色を起こしてしまうことがある。

レンチキュラー板の厚さを変化させることができないため、立体感の制御が出来ない。

【0005】本発明は、上述した問題点を解消した立体画像およびその製造方法、すなわちレンチキュラー板と印画紙との貼り合わせ方法を提供することを目的とする。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】レンチキュラー板と印画紙（視差を有する画像が所定ピッチで分割圧縮された合成画像）とを貼り合わせる際、両者の間に樹脂製の薄い透明フィルムを介在させる。この際、前記フィルムと前記印画紙とは、両面テープまたはドライラミネートにより接合し、前記フィルムと前記レンチキュラー板とは樹脂製の透明接着剤により接合する。

## 【0007】

【作用】前記フィルムと印画紙の乳剤面とは粘着性が高く、圧着（ドライラミネート）により容易に接合する。また、前記フィルム（樹脂）と接着剤（樹脂）とは接着力が強く、接着剤が短時間で硬化し、両者が接合する。

## 【0008】

【実施例】合成画像の形成された印画紙1と、両面テープ2と、樹脂製の薄い透明フィルム3と、樹脂製の透明接着剤4と、観察用レンチキュラー板5とを、図2の断面説明図に示すように積層し、図1の説明図に示すような立体画像10を得た。印画紙1と樹脂製の薄い透明フィルム3とは、両面テープ2を介さず、ドライラミネートにより接合しても良い。

## 【0009】

【発明の効果】レンチキュラー板と合成画像との間に樹脂製の薄い透明フィルムを介在させることで、接着剤が直接印画紙の乳剤面に接しないため、接着剤が合成画像の形成された乳剤面を侵して変色や退色を起こしてしまうことが回避される。さらに、透明フィルムの厚さを制御することにより立体感が自由に制御でき、加えて、作成効率の向上がはかれる。

## 【0010】

## 【図面の簡単な説明】

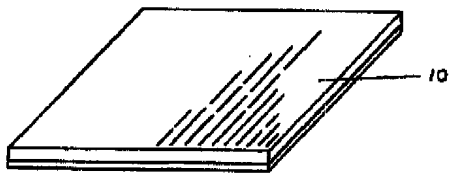
【図1】本発明による立体画像を示す説明図。

【図2】本発明による立体画像の断面構成を示す説明図。

## 【符号の説明】

- 1…合成画像の形成された印画紙
- 2…両面テープ
- 3…樹脂製の薄い透明フィルム
- 4…樹脂製の透明接着剤
- 5…観察用レンチキュラー板
- 10…立体画像

【図1】



【図2】

